



平成 24 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 博報堂DYホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 戸 田 裕 一
 (コード番号 2433 東証第一部)
 問合せ先 I R 部 長 八 木 聡
 (TEL 03-6441-9033)

平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 参考資料

本日公表しました平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信の主要な点につきまして以下の通りまとめましたので、参考資料とさせていただきます。

記

1. 連結損益計算書 要約 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	前年同期比	
	第1四半期(実績)	第1四半期(実績)	増減額	(%)
売上高	199,286	247,479	48,193	24.2%
売上総利益	30,886	39,552	8,665	28.1%
(売上総利益率)	(15.5%)	(16.0%)	(+0.5%)	
販管費	33,631	35,358	1,726	5.1%
営業利益(損失)	△ 2,745	4,194	6,939	---
(オペレーティング・マージン)	(-8.9%)	(10.6%)	(+19.5%)	
営業外損益	833	727	△ 106	
経常利益(損失)	△ 1,911	4,921	6,832	---
特別損益	△ 1,712	△ 70	1,641	
税引前利益(損失)	△ 3,624	4,850	8,474	---
四半期純利益(損失)	△ 3,666	2,159	5,825	---

(オペレーティング・マージン) = 営業利益/売上総利益

当第 1 四半期連結累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日、以下「当第 1 四半期」)における日本経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移する中で、緩やかに持ち直しつつあります。国内広告市場(注1)においては、前年 12 月以降 6 ヶ月連続で前年同期比プラスが続いており、回復基調が見られます。4～5 月累計では、震災の反動増もあり、前年同期比 118.2%と国内広告市場は大幅に伸張しております。

このような環境下、当社グループは、中期基本戦略である「次世代型の統合マーケティング・ソリューションの実践を通じて、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現する責任あるパートナーとなる」ことをベースに、「インターネット」「マーケティング/プロモーション」「グローバル」の 3 つの領域を重点戦略領域と定め、積極的な事業展開を継続してまいりました。この結果、売上高は 2,474 億 79 百万円(前年同期比 24.2%増加)と増収となりました。

当第 1 四半期の売上高を種目別に見ますと、すべての種目において前年同期を上回る結果となりま

した。4マスメディアでは、新聞、雑誌、ラジオの回復に加え、前年同期に震災の影響で大幅に減少しましたテレビスポットの出稿が好調に推移して前年同期を大きく上回り、4マスメディア取引合計は前年同期だけでなく、前々年同期を上回る結果となりました。また、4マスメディア以外は、インターネットメディアなどすべての種目で伸びましたが、中でもマーケティング/プロモーションは、前年同期の震災影響からの回復に加え、新規連結子会社の寄与等があり前年同期を大きく上回りました。その結果、4マスメディア以外取引合計も前年同期だけでなく、前々年同期を上回る結果となりました。

一方、売上高を得意先業種別に見ますと、多くの業種で前年同期を上回っておりますが、売上構成比の高い「自動車・関連品」「飲料・嗜好品」や「情報・通信」等が大幅に増加しております。(注2)

売上総利益に関しては、当社グループ全体での収益性向上のための様々な取り組みを継続したことにより、395億52百万円(同28.1%増加)となりました。販売費及び一般管理費は、新規連結会社の損益取り込みの影響等もあり前期に比べ微増となりましたが、営業利益は41億94百万円(前年同期は27億45百万円の損失)、経常利益は49億21百万円(前年同期は19億11百万円の損失)と、いずれも大幅な増益となりました。

これに特別利益の65百万円(同36.7%減少)及び特別損失の1億36百万円(同92.5%減少)を加味した税金等調整前四半期純利益は48億50百万円(前年同期は36億24百万円の損失)となり、税金等を控除した四半期純利益は21億59百万円(前年同期は36億66百万円の損失)となりました。

(注1)「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)によります。

(注2)当社の社内管理上の区分と集計によります。

2. 連結貸借対照表 要約 (平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	平成24年3月末		平成24年6月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	(%)
流動資産	400,531	77.2%	370,440	76.5%	△ 30,090	-7.5%
固定資産	118,274	22.8%	113,566	23.5%	△ 4,707	-4.0%
資産合計	518,805	100.0%	484,007	100.0%	△ 34,798	-6.7%
流動負債	286,887	55.3%	253,105	52.3%	△ 33,782	-11.8%
固定負債	12,636	2.4%	11,691	2.4%	△ 945	-7.5%
負債合計	299,524	57.7%	264,797	54.7%	△ 34,727	-11.6%
株主資本	205,233	39.6%	206,063	42.6%	830	0.4%
評価・換算差額等	881	0.2%	0	0.0%	△ 881	
新株予約権	287	0.0%	286	0.1%	△ 1	-0.5%
少数株主持分	12,878	2.5%	12,860	2.6%	△ 17	-0.1%
純資産合計	219,280	42.3%	219,210	45.3%	△ 70	0.0%
負債純資産合計	518,805	100.0%	484,007	100.0%	△ 34,798	-6.7%

3. 第2四半期（累計）の連結業績予想（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

当第1四半期の業績及び最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期 第2四半期（累計）の連結業績見通しを以下の通り修正いたしました。

なお、通期の業績につきましては、5月に公表いたしました予想を上回る可能性があると考えておりますが、現時点では、予想を変更するだけの確かな判断材料がないため、見直しを行っておりません。今後の動向がより明確になってきた時点で見直しを行い、あらためて開示をする予定であります。

（単位：百万円）

	第1四半期			第2四半期			上期			（参考） 5月11日発表の 上期 見直し
	平成25年3月期	前年同期比		平成25年3月期	前年同期比		平成25年3月期	前年同期比		
	実績	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	
売上高	247,479	48,193	24.2%	254,920	23,212	10.0%	502,400	71,405	16.6%	476,000
営業利益	4,194	6,939	-	6,805	1,571	30.0%	11,000	8,511	342.0%	5,800
経常利益	4,921	6,832	-	7,278	1,509	26.2%	12,200	8,342	216.2%	7,000
当期純利益	2,159	5,825	-	3,340	564	20.3%	5,500	6,389	-	2,800
（オA ^レ ・マージン）	(10.6%)	(+19.5%)		(15.5%)	(+2.3%)		(13.2%)	(+9.7%)		(7.4%)

（オA^レ・マージン） = 営業利益 / 売上総利益

（修正の理由）

当第1四半期の売上高は、回復基調が見られる広告市場をベースに震災影響の反動増が加わり、前年同期比24.2%増加となりました。また、第2四半期の売上高見通しも堅調であることから、今回、第2四半期（累計）の連結業績の見直しを行いました。

その結果、第2四半期（累計）の売上高を、5月公表時の見通し4,760億円（前年同期比10.4%増加）から、5,024億円（同16.6%増加）に修正しております。また、売上総利益率の向上もあり、営業利益、経常利益、当期純利益ともに5月公表時の見通しを大幅に上回る見込みであります。

（注）業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上